

総合的交通基盤整備連絡会 現地視察を終えて

あれは今年の1月末。職場に国のNさんから電話があった。「1月の郡山のパネルディスカッションご苦勞様でした。Yさんにお礼をしますよ。」私、素直に喜びすぐに聞き返した。N氏「次の連絡会は兵庫県で開催したいと思います。姫路市さんは協力してくれます。」……。

年度末を何とか乗り越えたらあつと言う間に5月になった。バタバタと連絡会、ポスターセッション、視察の準備 etc. どれだけ仕事があるのか全体像が見えないまま次から次へとお江戸から指示が飛んでくる。上司は「通常業務が優先やで」、私「当然そうです。」と回答する。でも、実際は通常業務を横にして視察の行程を組んだり、資料をつくったり。国の人って人を使うのがうまい。見習いたいものだ。

そして視察の当日。晴天。前日の懇親会の痕跡が明らかにお顔にある人もいたが、皆さん定時集合で視察開始。

最初は、JR姫路駅周辺整備の視察。駅から真正面に見える姫路城は存在感がある。JRさんご自慢の女性トイレは、子ども用のトイレ練習用のイスまで設置してあり、とても綺麗。多くの方が利用されていた。

6月20日から駅前の道路工事にあわせて公共交通車両のみを通行可とする車両通行規制が開始された。姫路市は、この規制を社会実験と捉えており、人優先のまちづくりに向けた検討が今後されることになっている。うまくいけば、供用している道路から全国初!? のトランジットモールが誕生するかも知れない。姫路城の改修、駅の周辺整備、トランジットモールの検討。姫路市から目が離せない。

次の視察は、北条鉄道。兵庫県のほぼ真ん中の加西市から小野市を走行する第三セクター鉄道である。北条鉄道社長である加西市長からのご挨拶は予備車両の中である。地方鉄道ならではのアットホームさが良い。この鉄道は、様々な利用促進を鉄道と地域住民がともに行っている。赤字はあるが削減努力も行いつつ、トイレの設置に力を注いでいる。トイレの設置にかかる費用は地域の方々のご寄付である。S常務の熱意に地域の方も賛同されるのだろう。

視察後にメールをいただいた福岡県のN氏は、「法華口駅」の枕木応援団になってくださったとのこと。胸が熱くなった。視察参加者の皆さんに北条鉄道サイダー、お菓子など沢山お買いあげいただいた。その日のうちに鉄道の担当から「いつもよりよく売れた」と喜びの声が寄せられた。

昼食で行った富久錦の「ふく蔵」でも色々ご購入いただき、感謝感激。きちんとしたガイドをせずに、物ばかり売ると声が聞こえるかと思ったが、皆さん地域振興にご協力いただき本当にいい人ばかりだ。ガイドは大阪商人の地が流れているのでお許し願いたい。

ご多忙の中に対応いただいた北条鉄道の皆さん、ありがとうございます。

次の視察は、県立人と防災未来センター。加西市から神戸市へ。震災の経験があるボランティアガイドさんの案内で、阪神・淡路大震災、東日本大震災の映像や資料などを見学。技術者として、いざという時に何ができるのか考えさせられる施設である。今回の視察では、駆け足でご覧いただいたが、次回はゆっくり見学していただければと思う。隣には、安藤忠夫氏による建築の県立美術館もある。

そして、最後に阪神三宮駅。今回の視察のトリにふさわしく大規模で、しかも視察当夜から線路の切り替え、階段の設置を行うというタイミングでの視察。ガイド自身も楽しみ

にしていた。一日約4万6千人が利用する駅を供用しながらの工事を計画的に、安全に行っている現場の方々に頭が下がる。この技術力は世界一なのではないかと思う。二日後に見に行くと、新階段を多くの方が以前からあったかの様に利用されており、新しい線路を電車が運行していた。阪神電車の皆さん、ご苦労様です。そして、ありがとうございます。

今回、視察にご参加いただいた皆様にお礼申し上げます。皆様のご協力が無事に視察を終えることができた。つたないガイドは、肝心な説明ができていなかったと反省している。また、貴重な経験をさせていただいた国のN氏にもお礼申し上げます。視察を行う中で多くの方が仕事に、前向きに熱く携わっておられることを直に感じることができ、私自身気持ちを新たにする機会となった。

では、皆さんお元気で。公共交通を取り巻く環境は厳しいですが、お互い協力して県民の皆様のために頑張りましょう。

平成24年6月末
ガイド Y

追伸 余部鉄道記念グッズ ネット販売しています。

<http://www.tsuzakikouzai.co.jp/amarubesyuhin.html>



北条鉄道 法華口駅にて集合写真

第33回 総合的交通基盤整備連絡会 現地視察行程

日時：平成24年6月1日(金)

集合：JR姫路駅北側

時間		視察地
①	8:20	J R 姫路駅北側集合
	8:30～9:00	J R 姫路駅周辺整備の視察 駅前広場、サンクンガーデン等 バス移動(約60分)
②	10:00～11:10	北条町駅・法華口駅視察 北条鉄道乗車 10:42 北条町駅発→10:54 法華口駅着 バス移動(約15分)
③	11:25～12:15	～昼食 ふく蔵～ バス移動(約70分)
④	13:25～14:50	人と防災未来センター見学 2班に分かれて見学 バス、徒歩移動(約20分)
⑤	15:10～16:00	都市鉄道利便性増進事業(阪神三宮駅) 線路切替工事現場、新設コンコース等
	16:00	三宮駅(解散)

① JR姫路駅

住所：姫路市駅前町188番

②北条鉄道

住所：加西市北条町北条28番地の2(北条町駅)

③ふく蔵

住所：加西市三口町1048

④人と防災未来センター

住所：神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

⑤阪神三宮駅

住所：神戸市中央区小野柄通8丁目

① J R 姫路駅周辺整備



② 北条鉄道



加西市長による挨拶(車両の中)



法華口駅のトイレ・寄付者の名盤

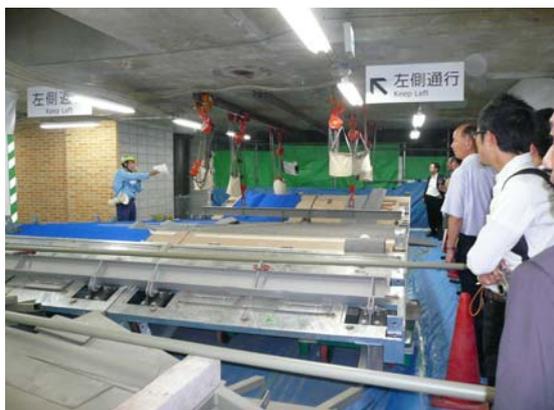
⑤ 阪神三宮駅



線路切り替え前(6月1日)



線路切り替え後(6月3日)



階段設置前(6月1日)



階段設置後(6月3日)

【ご参考】視察先「阪神三宮駅」関連報道

<http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/0005103959.shtml>

【神戸新聞】

社会

一晩で「通路と階段」完成 阪神三宮駅の改良工事

通路や階段が設置される前の阪神三宮駅。姫路方面の列車が運行している（1日午前）
＝いずれも神戸市中央区小野柄通8



2007年から改良工事が続く阪神三宮駅に2日、上下線のホームをつなぐ通路と新しい西口階段がお目見えした。前日まで線路が通り、列車が行き交っていた場所が、一晩のうちに様変わり。

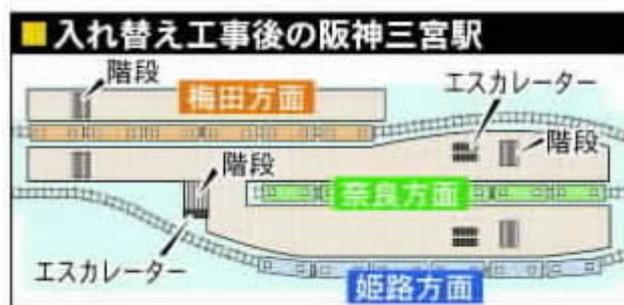
乗降客も「一日で雰囲気ガラッと変わった」と驚いていた。

2日未明の工事を経て通路と階段が登場。線路は姿を消した（2日午前）



通路は、3本ある線路のうち、1日まで姫路方面の列車が走行していた真ん中の線路上に設置。奈良方面との入れ替えに伴い折り返し線となるため、線路がなくなるホーム西側の部分を活用し、乗り継ぎの利便性を図ることにした。

主な工事は、列車の運行を妨げないよう、1日の終電後から2日の始発までに行われた。架線を外し、線路をふさいで通路を確保した上で、新しい階段も設置する。限られた時間でのリニューアルに向け、今春ごろから下準備を進め、総勢400人で取り組んだ。



地下駅ならではの苦労も。「作業上の制限が多く、資材置き場や人の配置にも頭を悩ませた」と阪神電鉄三宮工事事務所の村田豊喜所長。特に苦心したのが階段の新設だったという。鋼製の階段（幅3・3メートル、全長12メートル）を3分割し、クレーンが使えないため、滑車で移動させて組み立てた。

一連の工事が完了した2日朝、ホームでは、通路や階段の入れ替わりに戸惑う乗降客や、カメラを向ける鉄道ファンの姿が見られた。同駅のすべての改良工事は2013年春に完了する予定。

(小川 晶)

(2012/06/02 12:21)